

令和6年度 瑞穂市青少年育成市民会議スローガン

「創ろう！安心できる場所 育てよう！未来を担うみずほの子」

＜地域における実践活動を推進する三部会＞

- ① 明るいあいさつがまちにあふれ、市民が青少年をあたたく見守る“まちづくり部”
- ② 青少年が地域の活動に参加し、地域の人とふれあい、協力してつながる“地域づくり部”
- ③ 青少年が家庭、学校、地域の中で人と支え合い、助け合いながら成長できる“人づくり部”



＜あいさつ運動の日＞

1 まちづくり部の重点活動 【あいさつ運動】

「あいさつのまち みずほ」を合言葉に、毎月最初の授業日に登校する子どもたちとさわやかなあいさつを交わしています。警察、PTA、民生委員・児童委員、見守り隊など子どもたちをあたたく見守る声かけが増えてきています。子どもたちが安心して通学できるのは、地域の方々が温かく見守って下さりのおかげです。また、穂積北中学校の生徒が母校である小学校に毎月出向き、「合同あいさつ運動」を行っています。後輩の目線に合わせて、優しく声をかける中学生の姿がそこにありました。中学生の声に応え小学生の声もだんだんと大きくなってきました。このようにあいさつの輪がまちに広がっていくことはとても素敵なことです。



＜合同あいさつ運動＞

2 地域づくり部の重点活動 【ラジオ体操】

8月の第1日曜日を「市民ラジオ体操の日」として位置付け、各地区で一斉に取り組んでいます。子ども会や自治会が中心となってラジオ体操をすすめ、今年度は4,468人の市民の方が参加して汗を流しました。古橋南地区で行われたラジオ体操では、巣南中学校の生徒たちが前に立って手本となりながら総勢500人で気持ちのよい朝を迎えることができました。また、この日に清掃活動などの行事を計画し、地域で協力する機会を設けています。暑さもあり以前のようにたくさんの日数はできなくても、工夫しながら地域でのふれあいの場を継続していきたいです。



＜市民ラジオ体操の日＞

3 人づくり部の重点活動 【ボランティア】

小中学生が地域のボランティア活動に参加し、地域の方とふれあう体験ができるよう努めています。牛牧小校区では、夏休みに「こども塾2024」を開催しました。宿題や学習に取り組む小学生をサポートするため、少年リーダーがボランティアとして参加しました。分からないところを教えたり、質問に答えたりしながら、和やかな雰囲気を進めることができました。子どもたちは誰かのために行動することを通して「ありがとう、助かったよ」「うれしかったよ」とあたたかな気持ちを実感します。その体験の積み重ねによって子どもたちの自己肯定感が育まれていきます。



＜ボランティア活動＞